

令和5年度「社会実装プロジェクト」及び「社会実装教育フォーラム」に係る

クラウドファンディングの成果について

社会実装教育とは、本校が中心となり全国の高専で実践されているプログラムで、イノベーションを実現できる技術者の育成を目指し、「①課題の把握、②提供する価値の考察、③社会に導入し、④評価を得る」ということを社会と繋がりながら繰り返し、自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに社会と協創する重要性を体感する全く新しい教育プログラムです。本校では、この社会実装教育をカリキュラム（科目名「社会実装プロジェクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ」）に導入し、毎年度本科4年・本科5年の全学生（約400名）がチーム単位で地域社会の課題解決に取り組んでいます。

また、平成24年度から毎年3月上旬に、社会実装教育で学生が取り組んだ成果をコンテスト形式で発表する場として「社会実装教育フォーラム」を開催しています。本フォーラムは、東京高専の学生だけでなく、全国の高専から多くの学生が参加する一大イベントです。単に研究発表の場としてだけでなく、教育的観点からそのプロセス（課題発掘からその解決に向けた取り組み全体）を評価され、専門家からの確かなアドバイスを受けることで、学生自身が成長する学びの場となっています。

本校では、令和5年度の社会実装プロジェクト及び社会実装教育フォーラムをご支援いただく目的でクラウドファンディングを実施し（令和4～5年度）、計25名の方から合計545,000円のご支援をいただきました。ご支援いただいた寄附金は、クラウドファンディングサイト利用手数料（53,955円）を除き、これまで限られた予算で行っていた社会実装プロジェクトのチーム活動費（147,445円）、社会実装教育フォーラム開催経費（53,600円）及び社会実装教育フォーラム参加学生旅費支援（14,500円/名×支援希望学生20名＝290,000円）に活用させていただきました。

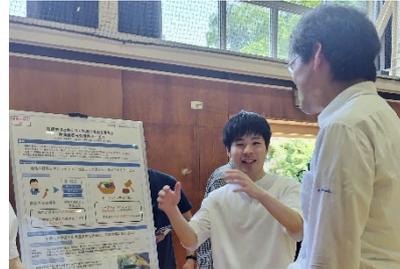
この度のご支援による社会実装プロジェクトの活動取組の成果は、令和5年7月11日（火）に開催した成果報告会で発表されました。また、令和6年3月8日（金）・3月9日（土）に開催した社会実装教育フォーラムにおいては、旅費支援を希望する参加学生20名に対して支援を行うことで、学生の旅費負担を軽減することができました。あらためまして、今回のクラウドファンディングの趣旨にご賛同いただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

社会実装教育フォーラムには企業関係者も多く来校されるなど、社会実装教育の取組が注目を集めています。本取組が今後より多くの受託研究や共同研究に発展することが期待されます。

■令和5年度社会実装プロジェクト 成果報告会

- 開催日：令和5年7月11日（火）
- 会場：本校第一体育館

○ 成果報告会の様子



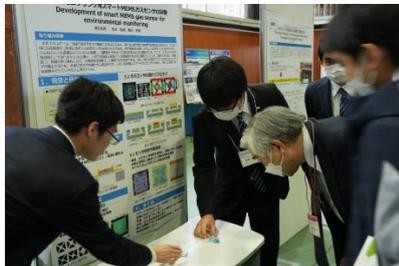
■ 令和5年度社会実装教育フォーラム

○ 開催日：令和6年3月8日（金）・3月9日（土）

○ 会場：本校第一体育館（3月8日（金））・本校5棟2階5201大講義室（3月9日（土））

○ 出場チーム：15高専 41チーム

○ 1日目（ファーストステージ）の様子



○ 2日目（ファイナルステージ）の様子



○ 審査結果

	賞名称	チーム名	タイトル
1	最優秀社会実装賞	東京02	石鹼スラッジを付加価値の高いものにアップサイクルする挑戦
2	優秀社会実装賞	長野02	竹パワーで水をきれいに！～竹粉による環境水中からの窒素化合物の除去～
3	社会実装構想賞	沖縄02	優しさと協力の未来 コラボレーティブロボットの社会適応に関する研究開発
4	社会実装構想賞	東京07	三次元計測技術とVRを用いた次世代型避難訓練教材の開発
5	社会実装要素技術賞	一関02	原子炉建屋内部の状況調査と作業を目的とした遠隔操作移動ロボットの開発
6	社会実装社会実験賞	高知01	免震建物に設置してあるけがき式変位計の時間特性を補充する加速度センサーマイコンボードの開発とその実装
7	社会実装社会実験賞	東京01	地産地消と食品ロス削減の実現を目指す廃棄農作物有効活用サービス
8	社会実装賞	沖縄01	進化する非破壊検査技術 宇宙放射線とAIによる構造物イメージング
9	三菱電機ロボット技術賞	一関02	原子炉建屋内部の状況調査と作業を目的とした遠隔操作移動ロボットの開発
10	安川電機賞	沖縄01	進化する非破壊検査技術 宇宙放射線とAIによる構造物イメージング

11	社会インフラ現場実装賞	高知01	免震建物に設置してあるけがき式変位計の時間特性を補充する加速度センサーマイコンボードの開発とその実装
----	-------------	------	--

その他の賞については、社会実装教育フォーラムWebサイトをご覧ください。

[社会実装教育フォーラム | 工業高等専門学校 | 独立行政法人 国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校 \(tokyo-ct.ac.jp\)](http://tokyo-ct.ac.jp)

○ 最優秀社会実装賞のご紹介

受賞チーム：東京02チーム

参加学生：

指導教員：物質工学科 庄司良 教授、物質工学科 伊藤未希雄 准教授

テーマ名：石鹼スラッジを付加価値の高いものにアップサイクルする挑戦

概要：

同チームの研究は物質工学科の学生が中心となり、牛乳石鹼共進社株式会社（大阪市）との共同研究として、の指導のもとで行われました。同社は固形石鹼の製造の際に生じる「石鹼スラッジ」の処分方法に困っていました。学生たちはみずから石鹼スラッジを建設材料の添加剤として利用できるのではないかとアイデアを出し、実際に実験してそれを確かめました。チームのメンバーは5年生に進級した現在も研究を進めており、今後実際に石鹼スラッジを利用した製品が登場することが期待されます。



谷合校長(当時)に成果報告する物質工学科4年(当時)のメンバー
前列左から秋山 禪さん、田代 悠人さん、
後列左から谷合俊一校長（当時）、米沢輝さん、奥崎 翔さん、伊藤未希雄准教授